

令和6年度第2回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和6年度第2回座間市社会教育委員会議		
開催日時	令和6年7月17日（水）10:00～12:00		
開催場所	座間市役所 5階 5-2会議室		
出席者	大串議長、赤羽副議長、小多喜委員、乾委員、宮代委員、浦委員、佐々木委員、金井委員		
事務担当	新井生涯学習課長 ほか2人		
関係各課	飯田図書館長、安部スポーツ課長、正田こども育成課長		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1. 経過報告と今後の事業について 2. 神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について（報告） 3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第2回広報部会について（報告） 4. 研究テーマについて		
資料の名称	資料1. 第2回座間市社会教育委員会議経過報告 資料2. 月間行事予定表		
会議の結果			
研究テーマについて、本日議論した内容を整理し、高齢者の学習支援の調査対象を具体化する。			
議事の概要			
1. 経過報告と今後の事業について（資料1、2） 生涯学習課長 資料1、2について説明。質問はあるか。 一同 特になし （図書館長、スポーツ課長、こども育成課長 退席）			
2. 神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について（報告） 大串議長 私が神奈川県社会教育委員連絡協議会の副会長となった。令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会で、座間市が広報部会担当となった。皆様にも協力していただくことがあると思うので、その			

際は、よろしくお願ひしたい。

3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第2回広報部会について(報告)

- 大串議長 ・役割分担について
資料コーナーの企画、運営等を担当することになった。
- ・広報について
社会教育主事等の養成を考え、大学生(市町村に繋がりのある)への参加を呼びかける。
- ・後援名義について
PTA(社会教育団体)は、例年後援団体だったが、外れることとなった。
- また、広報部会に関して、10年前に担当した経験がある。その際の資料を事務局で用意いただきたい。
- 事務局 保存年限が切れているので、市の方では無い。県の方では冊子、報告書等あるため、送付いただくこととなっている。
- 大串議長 委員には、準備等手伝いいただくこととなる。当日は、予定を空けていただくようお願いしたい。

～5分休憩～

4. 研究テーマ

- 事務局 以前の会議でテーマを「高齢者と子どもの関わり」として、市内の事例等を研究し、調査団体についても検討していくこととなっている。
- 大串議長 各々が全体のテーマ「高齢者と子どもの関わり」から課題を抽出して研究し、最終的に意見を出し合いまとめるのはどうか。
- 乾委員 各々が研究し、まとめるとなると膨大な時間が必要となる。また、個々で得意な分野、見識の高い分野もあるため、みんなで話している中で得られることも多くある。
- 大串議長 全体で1つのテーマで研究することとする。
- 乾委員 子どもと関わってくださる高齢者の原動力は素晴らしいと思う。原動力は何か。また、関わろうと思わない方は、なぜか気になる。小学生の通学の旗振りを毎日してくださっている年配の方は本当にすごいと思う。
- 大串議長 交通安全で旗を振っている高齢者がどのくらい座間にいるか、地域ごと

	にどのくらいいるのか、どこかの地域を選んで話を聞く。子どもがどう いうふうに見ているか考えてみる、などあると思う。
小多喜委員	活動しながら子どもと自然に関わっている団体やサークルは多くいる が、仕事と考えるのか、喜びと考えているのか等意識の違いがあると思 う。また、実際に高齢者が子どもとの関わりをもとめているのか、子 ども達は、喜んでいるのか。
赤羽副議長	テーマが広すぎるためテーマを絞り、一つの事例について研究する必要 がある。
佐々木委員	テーマを絞り、高齢者による学習支援について調べるのはどうか。
乾委員	実際に学習支援に関する活動をしている団体等はあるか。
佐々木委員	あすなる大学でも、挑戦した経過がある。子ども達に対し、公民館で、 高齢者が自己学習した知識を教えるというものだが、継続ができなかつ た。学校教育との絡みで支援していく必要があり、高齢者側の限界を感じ た。
宮代委員	私の経験だが、社会福祉協議会でボランティアを募り、放課後に生徒を 集め、高齢者が宿題等の面倒を見る機会があった。テーマを絞り、この ようなボランティアに対し話を聞くのはどうか。
大串議長	市内で高齢者が子どもの支援をしている団体がどれ程あるか、どのよう な支援を行っているのか等、実態を抑える必要がある。
佐々木委員	団体に関して、公民館長が詳しいかもしれない。
赤羽副議長	高齢者と子どもの関わりという大きなテーマがあって、どの活動で調査 研究するか、どのくらい活動している団体があるか、交通安全の面と学 習支援の話が上がっているが、どちらに絞っていくのか確定する必要が ある。
大串議長	学習の中でも、学校の勉強、スポーツ、博物館や図書館を利用する、旅 行等多くある。事例は少ないかもしれないが、学習は学校以外でも多く ある。
乾委員	学習の対象をどうするか検討する必要がある。公民館等の社会教育施設 内の机上で行われる学習を主軸に調査する等。主軸を決めるのはどう か。
大串議長	次回以降、本日議論した内容を整理して、高齢者の学習の何をテーマに 場所をどういうところにしぼっていくのか、テーマの設定とそれをどう 具体化していくのか議論したい。

【次回会議 令和6年9月25日（水）午前10時～市役所5階 5-2会議室】